

R2 2年理数探究科 Diversity-KOJO講座(11/26実施) 参加生徒アンケート 集計結果

| 質問 | 回答番号 | | | | | 合計 | 集計結果 |
|---|--|--|---|--|--------------------------------|----|------|
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | |
| Q1 あなたの学年は？ | 1年生 0 0.0% | 2年生 52 100.0% | 3年生 | | | 52 | |
| Q2 あなたの性別は？ | 男子 32 61.5% | 女子 20 38.5% | | | | 52 | |
| Q3 講座に参加して、科学についてどのように思うようになりましたか？ | 受講前から好きだったが、受講後はより好きになった 15 29.4% | 受講前から好きだったが、受講後もあまり変わらない 33 64.7% | 受講前から好きではなかったが、受講後は好きになった 3 5.9% | 受講前から好きではなかったし、受講後もあまり変わらない 0 0.0% | 受講前より嫌いになった 0 0.0% | 51 | |
| Q4 講演会は面白かったですか？ | 面白かった 15 28.8% | どちらかといえば面白かった 27 51.9% | どちらともいえない 9 17.3% | どちらかといえば面白くなかった 1 1.9% | 面白くなかった 0 0.0% | 52 | |
| Q5 講座の内容を自分なりに理解できましたか？ | 理解できた 16 30.8% | どちらかといえば理解できた 29 55.8% | どちらともいえない 7 13.5% | どちらかといえば理解できなかった 0 0.0% | 理解できなかった 0 0.0% | 52 | |
| Q6 講演を聞いて、科学に対する興味関心はどのように変わりましたか？ | 受講前も興味・関心はあり、受講後はもっと興味・関心が増した 20 38.5% | 受講前も興味・関心はあり、受講後もあまり変わらない 30 57.7% | 受講前は興味・関心はなかったが、受講後は興味・関心をもつようになった 2 3.8% | 受講前は興味・関心はなく、受講後もあまり変わらない 0 0.0% | 受講前よりも興味・関心はなくなった 0 0.0% | 52 | |
| Q7 講座への参加で、将来、科学に関する職業に就きたいと思われましたか？ | 受講前も考えており、受講後はもっと考えるようになった 17 33.3% | 受講前も考えていたが、受講後もあまり変わらない 28 54.9% | 受講前は考えていなかったが、受講後は考えるようになった 3 5.9% | 受講前は考えていなかったが、受講後もあまり変わらない 3 5.9% | 受講前よりも考えなくなった 0 0.0% | 51 | |
| Q8 社会におけるダイバーシティ(Diversity)の考えに対する理解が深まりましたか？ | 大変理解が深まった 19 36.5% | まあまあ理解できた 26 50.0% | どちらともいえない 7 13.5% | あまり理解できなかった 0 0.0% | まったく理解できなかった 0 0.0% | 52 | |
| Q9 今後、このような講座に、また参加したいですか？ | 参加したい 12 23.1% | どちらかといえば参加したい 17 32.7% | どちらともいえない 20 38.5% | どちらかといえば参加したくない 1 1.9% | 参加したくない 2 3.8% | 52 | |

Q10 講義を通して学んだことや新しく知ったことを記入してください

- ・工学部の女性の方が思っていたよりも少なく驚いた。社会において、男女の立場の差は小さいと思っていたがまだ存在するのかもしれないと思った。
- ・倫理的に考えて、説明できることが大事。周りを見るクセをつける。
- ・センサという人間の触覚を数値化できるのに驚いた。
- ・東北大学工学部について。
- ・日本の女性の研究参加率を聞いて、他の国よりも遅れていると感じた。
- ・布の研究はこれで解決。
- ・触角の測定…“振動”に着目。×摩擦。
- ・指紋によって感度が変わること。
- ・指の構造がとても複雑であることが分かった。
- ・東北大学が女子学生の研究者を育成することに力を入れていることを初めて知った。
- ・実際に研究の内容を聞いて良かった。
- ・工学と医工学の違いについて学ぶことが出来た。
- ・触覚受容器によって、反応する速さが異なること。錯触という同じものでも表面加工をすると硬さが違うように感じる。日本で作られた「ヒノトリ」という手術ロボットがあること。
- ・女性の研究者がなぜ増えた方がよいのか分かった。
- ・最先端の技術。多様性。
- ・触角を科学で表現することが難しいことだと分かった。
- ・触感をデータ化する時に、摩擦とかではなく振動に着目するとデータとしてとれる事。
- ・触覚には想像していた以上に計測する項目が多くて驚いた。
- ・一口に工学といっても様々な分野があつて、とても多くの事を学ぶことができると分かった。
- ・触角：◎作用反作用に支配される。
- ・医工学といっても様々な種類があるのだということが分かった。
- ・触覚を感じる神経にも様々な種類があることが分かった。
- ・医療の発展に大いに貢献していることが分かった。触感を数値化するなどして、さらに発展した世界を作れるのだと分かった。6Gの世界を見てみたいと思った。
- ・大学でのことについてイメージできた。

Q11 その他、感想や意見、要望などがあれば記入してください

- ・自分は倫理的に考えたり説明したりすることが苦手なので、倫理的に考えられるようにしたい。
- ・生物系の講座もお願いしたい。③
- ・大学に対して(東北だけでなく)知らない部分が沢山あった。もっと調べたいと思った。
- ・女性らしい、男性らしいとは？
- ・女性研究者が世界でもどんどん活躍して欲しいなと思った。
- ・研究に関する講演の時間をもう少し長くしてほしいなと思った。
- ・座談会で、プライベートのお話までたくさん聞くことが出来た。また、女性の活躍についてよく考える機会になった。